

# 6802億の西口開発は凍結を



福祉・暮らし応援こそ大事  
日本共産党 渡部 和子

## ▼26年度予算編成

**問** アベノミクスは物価高を生み、非正規雇用をふやし、実質可処分所得を減らしている。4月からの消費税増税や社会保障改悪に反対し、市民の暮らしや営業を支える予算を求める。

**答** 景気が上向いている兆しはある。社会保障制度の安定財源のため消費税増税はやむを得ない。予算は市全体の優先順位を考慮し、限られた財源を有効に活用していく。

## ▼柏駅周辺再開発事業

**問** 柏駅西口北地区の再開発事業は、総事業費682億円、柏市負担分が134億円と示されている。現在進んでいる東口D街区は市の支出を最小限に抑え、西口再開発は凍結することこそ、将来につけを回さず、住民福祉の増進を図るべき市長の責任ある態度ではないか。

**答** 柏駅西口北地区は、昭和60年から検討を進め、昨年6月に準備組合が設立された。中心市街地の一翼を担う地区なので、今後とも支援していく。

## ▼地域経済活性化策

**問** 経済波及効果が立証済みの住宅リフォーム助成制度や、高崎市が実施している商店リニューアル事業など、地域循環型経済の具体策を求める。

**答** 個人の店舗の改装や備品の購入への支援は、個人資産の形成にもつながる。地域の実情に合った振興策を図っていく。

## ▼国民健康保険事業

ている。どう整備していくのか。  
**答** 29年度末を目前に、潜在的ニーズに対応した認可保育園の整備、保育の量確保の方策を検討していく。

## ▼普通教室へのエアコン設置

**問** 流山、鎌ヶ谷は26年度から学校の普通教室にエアコンが設置される。松戸、我孫子、野田は設計の予算が計上されている。本市の具体策を求める。

**答** 学校の耐震化工事の終了した平成28年以降、学校施設の長寿命化の対策の中で、補助金の状況に注視しながら判断する。

## ▼市長の公務の情報公開

**問** 秋山市長は公務日誌を公開していない。公務の身を市民に知らせ、タウンミーティングで市民の生の声を聞くべき。

**答** 広報かしの市長室だよりで情報を発信していく。ふるさと協議会や町会との有意義な対話を考えていく。

# 夢のある施策の実現に向けて

高柳駅周辺の活性化を



新世 柏 中村 昌治

## ▼高柳駅周辺の区画整理事業

**問** 高柳駅には西口改札がない。27年度には駅自由通路の整備、31年度までには駅舎の橋上化の計画と聞いているが、高柳駅西側特定土地区画整理事業の進捗状況及び今後事業が計画どおり完了するための課題とその対策は。

**答** 事業の基本的な方針は、駅前の広場及び駅進入路の優先的な整備、保留地の早期処分、28年度の事業完了の3点である。1点目の駅前広場等の整備は、整備予定地及びその隣接地である建物等の移転を平成25年11月末に完了し、造成工事を年度内に完了する予定である。自由通路の整備時期を踏まえた駅前広場の整備は、26年度に完了する計画である。2点目の保留地処分の促進は、現在の処分率は60%であり25年度末までにほぼ完了予定である。3点目の28年度の事業完了については、25年度末時点の事業全体の進捗率は、

約86%となる見込みで順調に進捗しており、28年度の事業完了を目指している。本事業の課題は保留地処分による事業資金の確保である。事業計画において約15億9300万円の保留地処分収入を見込んでいるが、これまでの処分済み額は約9億5000万円で、残り約6億4300万円分の保留地の処分が課題である。組合では先着順による直接販売のほか、ハウスメーカーとの販売代理契約による販売等、多角的な販売を進めている。本市でも保留地処分を後押しするために、市ホームページに保留地販売情報を掲載し、支援している。

## ▼今後の放射線対策

**問** これまで市では除染実施計画である。報酬単価、支給方法等も含め、今後も市民から理解を得られるよう努めていく。

**答** エアコンの設置もよいが、建物全体を緑で包んではどうか。緑化は日陰をつくり、室温や建物の表面温度の上昇を抑え、省エネ効果も大きく、ヒートアイランド現象も緩和する。助成金の内容の見直しを図り、当制度の普及啓発に努める。

## ▼市民協働・地域コミュニケーション

**問** 千葉市の『ちばレポ』(※)という事業は、市民協働や自治参加のきっかけづくりに適している。柏でも行ってみたい。

**答** しつかりとした仕組みをつくる必要がある。この事業の柏市版を導入することを前提に、今後取り組みたい。

## ▼子どもの力を借りて地域コミュニケーション

**問** 子どもの力を借りて地域コミュニケーションを醸成や企業成長を導く事業、高齢者と乳幼児世帯や

学生とのかわわりを提供し、お互いの相乗効果をつくり出す事業等、各地で異世代交流『ななめの関係』を促す取り組みがふえている。柏でもそのような活動を有効活用・支援するべきだ。

※『ちばレポ』= 25年度に千葉市で実施した「ちば市民協働レポート実証実験」の愛称。市民がスマートフォンやパソコンを使って、道路・公園などの課題や不具合を地域課題として投稿し、その課題を市民と行政が共有、分担して解決する仕組み作りのための実証実験。

# みんなが住みたいまちへ

さらなる行財政改革を  
政和会 坂巻 重男



## ▼財政運営

**問** 不交付団体(交付税を国からもらわない)を目指した財政健全化対策を考えるべきだ。

**答** 県内の不交付団体は、成田浦安、袖ヶ浦の3市である。本市も昭和60年から平成10年までは不交付団体であった。不交付団体になるには百億円を超える収支改善が必要である。税収増の取り組みも行っているが、10年以上発行が続いている臨時財政対策債が累増し、現状の地方財政制度では真に自立した財政運営を行うことは非常に困

## ▼退職金の考え方

**問** 特別職の市長が、一般職の職員と一緒に考えるという前回の答弁はどう考えてもおかしい。

**答** 市民は同じ役所で働く人間と捉える。先の議会の答弁どおり、全体の給与制度に関連して、市民の意見を聞きながら考える。

## ▼非常勤特別職報酬のあり方

**問** 職種によって報酬に差があるが、その根拠は何か。

**答** 職務内容・職責に応じた報酬である。報酬単価、支給方法等も含め、今後も市民から理解を得られるよう努めていく。

# 地域コミュニケーションの醸成

『ななめの関係』の構築を  
柏愛倶楽部 永野 正敏



子どもを育てるという観点から、子育て施策については、四季台や高柳地区で地域の方が主体となり、子ども循環型社会の構築を目指し取り組んでいる。地域活性化には『ななめの関係』が重要な役割を担っている。ただ、

## ▼救急・防災

**問** コンビニ店等にAED設置の協力を求めています。

**答** 公共施設の設置普及に努めてきたが、休日や夜間に使用できないという問題点もあったので、今後検討していきたい。

## ▼地震時に最も危険なのが火災だ。火災抑制に効果のある感震ブレイカーの普及促進を。

**問** 有効性は認識している。自助努力に対する補助のあり方の視点を立ち、今後精査していく。

### ● 会議録 ●

(<http://www.city.kashiwa.lg.jp/>)

本会議や委員会の内容を記録した会議録はホームページで見ることができます。図書館本館・分館でもごらんになれます。

### ● Twitter ●

(ツイッター)

([http://twitter.com/kashiwa\\_gikai](http://twitter.com/kashiwa_gikai))

本会議や委員会開催などの情報を発信しています。ぜひごらんください。上記のURLからアクセスしてください。